



並木中等story

令和4年7月20日号

人間の一生



今日も水島恵一氏が書かれた『自己探求と人間回復』（大日本図書）からの話題です。著書の中で先生は次のように書いています。（途中略・一部、文をやさしくしました）「人間の一生は、自己実現と心の成長の歴史である。**人は自分にめざめ、心を世界へと開いていくと言われる。しかし、開かれた心とか純粹の愛などはほとんどない。**私たちが自己実現の道を歩んだり、人を愛せたりするのは、他人に気に入られたいとか、成功を勝ち得たいというような自己中心的な欲求に裏付けられて行動していることが多いからだ。」

一方で「人は成長しつつも、たえず幼児のような純粹さに帰ろうとしている。純粹になりきれない自我を常に背負いつつ、それを絶えず洗い直して発展しようとしている」と先生は述べています。

完璧な人がいないのと同じように、完全な自己実現や成長はないのです。**私は先生の本から“ありのままの自分の洞察、自己の弱さ・醜さの発見、不完全な愛や整理の付かない煩惱の中でしか生きられない自分に対する理解を通して、内面（心）を変革し続けること、これが“人間の一生”であると、読み取りました。**

《8月6日の学校説明会は締め切りました！》

8月6日（土）にノバホールで開催予定の小学生及びその保護者対象の学校説明会は定員となり、締め切らせていただきました。多数の応募ありがとうございました。当日の様子は後日、録画をHPに掲載したいと思います。よろしくお願いいたします。